

## 高知県安全安心まちづくり推進会議構成員の平成22年度上半期の取組

※県、県教育委員会、高知県警察及び市町村による取り組みを除きます。

番号	団体等名称〔構成団体・人数〕	取組項目	上半期に実施した取組実績
1	社団法人 高知県防犯協会 〔正会員23団体 賛助会員75団体〕	各地区地域安全協(議)会との連携	全国地域安全運動に関するポスターを各地域安全協(議)会へ配布し、防犯活動の広報に対する助成を行った。(9月)
		少年警察ボランティア協会、警察本部少年課との連携	窪川地区(8月)、室戸・嶺北地区(9月)の少年補導員連絡協議会の少年サポート事業に対し、イベントに必要な物資等の助成を行った。
2	高知県地域安全アドバイザー連絡会 〔16地域(警察署管内) アドバイザー16名〕	広報紙への掲載	地域安全ニュースの発行(4~9月末) 県内16地区の地域安全アドバイザーが、各地区の犯罪状況に応じた地域安全ニュースを発行(93種類、247,171部)
		各種防犯教室の開催	児童に対する防犯教室の開催(4~9月末) ・幼稚園、保育園における誘拐被害防止教室(16地区、151回) ・小学校における非行防止教室(県内34校)
		地域安全活動強化日	1「地域安全強化日」関係 高齢者安全教室、高齢者宅訪問活動、児童生徒の見守り活動、被害防止キャンペーン等をボランティア、地域住民等と協働で実施した。 2「通学路安全の日」関係 県内各地区において、学校関係者、ボランティア等と協働で8月を除く毎月第3木曜日に実施 (ボランティア、地域住民等6,634人が参加)
		啓発行事の実施	県内16地区で、地区の犯罪状況に応じて「子どもと女性の被害防止」「住宅を対象とする侵入犯罪の防止」「万引き・自転車盗の防止」「少年の健全育成」の重点項目に沿って街頭キャンペーン、高齢者教室、非行防止教室安全、安心フェア等の各種行事を開催
3	高知県タウンポリス連絡協議会 〔60団体、約4,358名〕	機関紙への掲載	「高知県タウンポリス連絡協議会」を開催し、防犯資料1種500部を会員に配付し、会員相互の意識啓発を行った。(8月)
		地域見守り活動の実施	4月から9月末(8月を除く)の通学路安全の日に各地区で活動しているタウンポリス(自主防犯組織)が地域住民等と連携して、登下校時の子ども見守り活動を実施した。(参加住民等6,634人、青ハット等380台)
		全国地域安全運動等の啓発活動への参加	地域安全運動期間中、子どもの見守り活動、防犯教室、高齢者安全教室等地域の安全安心まちづくり活動へ積極的に参加した。
4	高知県民生委員児童委員協議会連合会 〔34団体、約2,500名〕	ブロック及び市町村単位での取り組み	県内市町村民生協と各地域JAとの地域見守り協定締結が進んでいる。
		子ども支援の充実	10月31日に行われる街頭パレードへ参加予定。
5	財団法人高知県老人クラブ連合会 〔31団体、約30,000名〕	活動方針として取り組む	見守り活動や友愛訪問活動、世代間交流、悪質商法被害未然防止活動、交通安全活動などを地域支え合い事業として位置付け、22年度も重点事業として全市町村老連に活動を呼びかけるとともに、モデル市町村を10ヶ所指定し、学習会を開催するなどして啓発を行った。
6	高知県連合婦人会 〔45支部、約7,000名〕	地域で見守り活動の実施	1 各市町村の婦人会で、通学路の子どもに声をかけるなど、日常的に子どもを見守る運動をしている。 2 高齢者単身世帯を中心に、悪徳業者や詐欺に気をつけるよう訪問した。
7	社会福祉法人高知県社会福祉協議会 〔会員419団体〕	地域における要支援者の把握と地域見守り体制の整備促進	1 民生委員児童委員協議会の事務局を持つ市町村社協では、社協と民児協の連携により定例会において、地域住民の生活状況を確認した支援を行っており、下半期も継続的な支援を行う。 2 「民生委員・児童委員の日」活動強化月間に、高知市・室戸市などにおいて高齢者などに活動のPRを実施している。(5月) 3 「災害ボランティアセンター」は、香南市・奈半利町・田野町・安田町・馬路村・北川村・佐川町・津野町の8ヶ所を指定。支援体制の関係機関とつなげている。

高知県安全安心まちづくり推進会議構成員の平成22年度上半期の取組

番号	団体等名称〔構成団体・人数〕	取組項目	上半期に実施した取組実績
8	社団法人 高知県交通安全協会 〔16支部〕	見守り活動の実施啓発活動の実施会員への意識啓発	交通安全運動等の街頭啓発活動に併せ、事故の防止とともに高齢者や子どもを犯罪の被害から守るための見守り活動も実施した。
9	高知県交通安全指導員協議会 〔34支部、303名〕	活動の重点項目として取り組む	1 春、秋の全国交通安全運動期間中に行われる一斉街頭指導日及び交通事故死ゼロを目指す日に街頭活動を実施し、交通安全指導に併せて登校時の見守り活動を実施した。 2 県内一斉の自転車マナーアップキャンペーンを行い、自転車の事故防止を訴えた。(5/17) 3 高齢者1万人訪問活動を行い、県内の高齢者に対して交通事故防止、振り込め詐欺等の被害防止を訴えた。(9月) 4 通常総会を開催し、参加した各地区の指導員に対し、登下校時の子どもの見守り活動及び高齢者等の交通事故防止の活動実施を周知した。(5/13)
10	高知県交通安全母の会連合会 〔34支部、約35,000名〕	活動の重点項目として取り組む	1 通常総会を開催し、母の会会員に対し、登下校時の子どもの見守り活動及び高齢者等の交通事故防止の啓発活動実施を周知した。(5/19) 2 春、秋の全国交通安全運動期間中に行われる一斉街頭指導日及び交通事故死ゼロを目指す日に街頭活動を実施し、交通安全指導に併せて登校時の見守り活動を実施した。 3 県内一斉の自転車マナーアップキャンペーンを行い、自転車の事故防止を訴えた。(5/17) 4 高齢者1万人訪問活動(9月)、高齢者ふれあい出前事業(9月～12月)において世帯訪問を行い、県内の高齢者に対して交通事故防止、振り込め詐欺等の被害防止を訴えた。
11	高知県少年警察ボランティア協会 〔16支部、488名〕	機関紙への掲載	機関紙「さぼと」に推進会議総会等の記事を掲載し、会員等に配布した。
		見守り活動の実施	各月第3木曜日(3もくの日)や各署独自の補導強化日に行われる街頭補導に併せて、通学路等における見守り活動を実施した。
		啓発行事への参加	各地区の状況に応じて、各種啓発活動を実施する予定である。
12	財団法人高知県身体障害者連合会 〔33支部、約3,000名〕	会員への意識啓発	実施なし
13	高知市老人クラブ連合会 〔195団体、約9,200名〕	広報誌への掲載及び関連事業の実施	1 市老連HPに交通事故発生状況の警報を掲載(4月) 2 秦ブロック(5/17)、布師田ブロック(5/24)の研修会で犯罪被害防止と交通安全講話を実施。 3 高齢者交通安全自転車大会に参加(5/25、30名) 4 秦ブロック(単老11ブロック)において54名の見守り隊を発足。(6/5) 5 県警交通安全フェスタに参加(9/19、147名) 6 シニアドライバースクールに参加(9/26、15名) 7 無事故無違反チャレンジ100出発式に参加(9/28、47チーム、235名)
14	高知県小中学校PTA連合会 〔7支部、約56,000名〕	活動方針として取り組む	事件・事故・災害から子どもの生命と安全が守られるよう研修会などで会員の意識啓発を行った。
		広報誌・ホームページへの掲載	犯罪のない安全安心まちづくりに関する記事を掲載した広報紙「高知県PTA新聞」(7月発行)を58,920部印刷して配布し、会員の意識啓発を行った。
15	高知県小中学校長会 〔県内小中学校長 337名〕	研修会「後援会」の実施	危機管理の研修マニュアルの見直し等により、迅速な対応ができるようになった。
		情報交換の開催	民生児童委員、地区補導員と連絡会を行い、児童生徒の安全確保の連携強化を行った。(4月～7月)

高知県安全安心まちづくり推進会議構成員の平成22年度上半期の取組

番号	団体等名称〔構成団体・人数〕	取組項目	上半期に実施した取組実績
16	高知県スクールガード・リーダー連絡協議会 〔スクールガード・リーダー 38名〕	学校内外の巡回、学校等への助言、見守り活動	1 スクールガード・リーダーの委嘱(23市町村、38名) 2 スクールガード・リーダー連絡協議会を開催(5/27) 県教委から「スクールガード・リーダー活動の手引き」をもとに、活動内容や留意事項について説明し、情報共有を行った。 また、県警本部生活安全企画課から治安状況の説明や不審者に対する声かけ方法、護身術などの指導により共通理解を図った。
17	高知県経営者協会 〔約270名〕	会員への広報	「安全安心まちづくりニュース」第1号(280部)を会員に送付し、意識啓発を行った。
18	高知県商工会議所連合会 〔6団体、約6,800名〕	会報への掲載	暴力団排除条例施行に関する記事を広報紙「高知商工会議所会報12月号」に掲載することを決定した。(会員企業・関連施設に3,200部配布予定)
		県民のつどいへの参加呼びかけ	県内6商工会議所に啓発ポスターを掲示。また、定例役員会や各種会議時に告知し、周知した。
		地域防犯活動への協力	会員企業への巡回指導時に、防犯活動について理解を求め、地域見守り隊や安全シェルター活動への積極的な参加、協力について説明した。
19	高知県商工会連合会 〔約20名〕	地域見守り防犯活動の実施	公用車に「子ども見守り隊」のマグネットシートを貼付し、庁外活動時に併せて子どもの見守りを実施した。
20	高知県旅館ホテル生活衛生同業組合 〔11支部、235事業所〕	子どもを守る活動の「子ども110番の宿」活動の実施	1 青年部総会にて「子ども110番の宿」について意識啓発。 2 子ども・青少年を守る活動に関連して ・街頭防犯カメラ設置に関する説明会 ・ラブホテル等における年少者利用防止等のためのガイドラインの策定について配布を行った。
		全国地域安全運動等への参加	1 第26回暴力追放高知市民会議総会出席 2 平成22年度高知地区地域安全協会総会出席 3 平成22年度青少年育成県民会議出席
21	社団法人高知県建築士会 〔会員約1,400名〕	高知県建築士会報への掲載	高知県建築士会のホームページに「2009年第4号安全安心まちづくりニュース」をアップして、周知している。
22	高知県共同住宅防犯協議会 〔1団体〕	広報啓発活動	高知署において、サーパスマンション管理者に対する侵入犯罪被害防止研修会を開催して、マンション管理者への防犯意識の高揚を図った。(9/30)
23	高知県金融機関防犯連合会 〔16支部〕	広報紙への掲載	各地区において、警察、行政機関等と連携して、街頭キャンペーンや金融機関を対象とした犯罪被害防止、振り込め詐欺被害防止広報を実施し、犯罪のない安全安心まちづくりに努めた。 各キャンペーンにおいて被害防止チラシ等を配付した。
		被害防止対策の推進	各店に対して、カスタマーポリス活動による顧客の安全を守る店内巡回、駐車場等の見回り活動を行い、犯罪の発生を防止し、緊急の場合の通報等に努めた。
		店舗の防犯体制の強化	各地区金融機関が警察と合同で、金融機関強盗訓練を13回実施し、店舗の防犯体制を強化するとともに、通報体制を確認した。(4月～9月)
24	高知県深夜スーパー等防犯対策協議会 〔161店舗〕	広報紙への掲載	高知県深夜スーパー等防犯対策協議会を開催し、防犯対策資料を配付して、犯罪のない安全安心まちづくりに努めた。(9/27)
		セーフティステーション活動の実施	コンビニエンスストア及び深夜スーパー等において、強盗訓練及び不審者対応訓練を実施し、防犯体制や通報体制の確立に努めた。(強盗訓練等1回実施、高知市内)
		店舗の防犯体制の強化	高知県深夜スーパー等防犯対策協議会を開催し、防犯カメラ等の設置を依頼して防犯体制の強化に努めた。(9/27)
25	高知県石油業協同組合 〔12支部、約225名〕	地域安全シェルター(かけこみ110番連絡所)活動の実施	組合員及び給油所にマニュアルを配布した。(6月)

高知県安全安心まちづくり推進会議構成員の平成22年度上半期の取組

番号	団体等名称〔構成団体・人数〕	取組項目	上半期に実施した取組実績
26	高知県理容生活衛生同業組合 〔約500名〕	安全シェルター活動 (チョコキちゃんの店)の実施	「みんなをまもるみせ」チョコキちゃんシールを所属店舗に配布し、子どもなどの安全シェルター活動を行った。(4月)
27	高知県遊技業協同組合 〔46団体、46名〕	各ホール駐車場における防犯対策の実施	各ホールの駐車場における車上ねらい等を防止するための被害防止活動を実施した。
		(新規、または追加)	各ホール駐車場における子どもの車内放置事故を防止するため、ポスターの掲示及び店内放送による呼びかけ、各駐車場の見回り活動等を実施した。
28	社団法人高知県トラック協会 〔県内11支部、425事業者 従業員数7,565名〕	広報紙への掲載	「こうちトラック情報」4月号に「安全安心まちづくり2009年度第4号」を、8月号に「同ニュース2010年度第1号」を掲載し、会員の意識啓発を行った。
		地域見守り活動の実施	県内ダンプ部会員の車両数850台と食料品部会員の車両数300台が日常業務の運行において、見守り活動を継続中。
29	社団法人高知県警備業協会 〔35団体(支部) 会員約2,000名〕	子どもの見守り活動	高知県及び高知県教育委員会との間で、「安全安心まちづくり協定」を締結した後、協会会員15社において22台の青色回転灯パトロールカーによる自主防犯活動を展開しているが、1月から9月までの間に通学路を重点として、合計220回のパトロール活動を実施した。
		(新規、または追加)	通常総会において、平成22年度の事業計画の一環として ・高知県安全安心まちづくりの推進に関する協力 ・青色回転灯パトロールカーによる自主防犯活動 の2事業を策定し、同事業に要する予算100万円を計上した。(6/3)
30	社団法人高知県指定自動車学校協会 〔11支部、会員250名〕	県内各教習所の一斉開放による防犯活動の推進	「無事故の日」(6月25日)を設定するとともに、教習所を一日開放し、高齢者交通安全体験学習と並行してひたくり被害防止活動に関する啓発を行った。
31	株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ四国支社高知支店 〔社員約50名〕	ケータイ安全教室の開催	1 小学校・中学校・高等学校及び保護者・教員を対象に「ケータイ安全教室」を実施。(4月～9月の間に7回、延べ911名が受講) 2 シニア層を対象に振り込め詐欺等の事例を織り込んだ「ケータイ安全教室」を実施。(4月～9月の間に2回、延べ55名が受講)
32	日本貸金業協会高知県支部 〔3名〕	ポスターリーフレットの配布	1 来協した消費者ヘリーフレットの配布 2 協会員にポスター掲示を指導 3 非協会員については、行政にリーフレット配布の依頼
33	西日本電信電話株式会社高知支店 〔2支部、約800名〕	ホームページへの掲載	「迷惑防止対策をしたい」、「不審な電話があった時」などの情報サービスをホームページへの掲載して、注意喚起を行った。
		「ハローページ」悪用による詐欺への対応	1 電話料金請求書への注意喚起文書同封(6月) 2 116等受付部門で申込み時の掲載確認の徹底 3 ホームページへ注意喚起文の掲載(9/15)
34	株式会社高知銀行 〔行員975名〕	安全シェルター活動の実施	「こども110ばんの銀行」のステッカーを貼付し、緊急時の安全シェルター活動に備えるよう各支店に指示を行った。
35	四国電力株式会社高知支店 〔委託検針・集金員141名 よんでんグループ車両525台〕	地域の見守り活動の推進	1 5月:委託集金員が電気料金集金のため、お客様方を訪問した際、1人暮らしの男性の異変に気づき通報。人命救助に貢献した。(8月に、高知県民生委員児童委員協議会連合会会長から感謝状の贈呈を受けた。) 2 6月:認知症サポーター要請講座を受講(62名)し、認知症に関する知識の習熟に努めた。 3 6月:安全安心まちづくりの推進活動の取組について、全社員に周知を行い、社員認識の高揚を図った。

高知県安全安心まちづくり推進会議構成員の平成22年度上半期の取組

番号	団体等名称〔構成団体・人数〕	取組項目	上半期に実施した取組実績
36	社団法人高知県産業廃棄物協会 〔正会員128 賛助会員12名〕	平成21年度事業の重点施策として活動する旨の事業計画を樹立	平成22年度重点施策として、安全安心まちづくりを推進する旨役員会で決定（H22年4月13日、21日、5月10日） この決定に基づき「平成22年度事業計画（案）」を示して、5月17日の総会へ議案として上程し可決。
		関係機関・団体との連携による活動	5月17日の総会で可決以降、日々推進している。
		自主行動の強化 ○自助・共助活動 ○広報、啓発活動	5月17日の総会で可決以降、日々推進している。
		推進会議から要請、事務連絡等に対する適切な対応	1 「安全安心まちづくりニュース」（第1号）を協会員事業所宛に送配布した。（8/3） 2 「安全安心まちづくりニュース」（第2号）を協会員事業所宛に送配布した。（8/27）
37	高知県自転車二輪車商協同組合 〔会員121名〕	自転車点検等を通じて安全安心まちづくりに努める	1 高知市内の小中学校において、自転車点検を実施した。 2 秋の交通安全ひろばにおいて、自転車の無料点検を実施した。 3 購入者等を対象に、TSMマークの配付をした。
38	四国コカ・コーラボトリング株式会社高知支店 〔社員約180名〕	子どもの見守り活動の実施	コカ・コーラ車両に「こどもSOSの車」ステッカーを貼り、業務に併せて子どもの見守りを行った。（約180台）
		まもると安心自動販売機の普及	LEDメッセージボード付き自動販売機を設置し、不審者情報や犯罪予防情報の発信を行った。
39	株式会社四国銀行 〔63事業所〕	振り込み詐欺の防止	4月～9月の間、当行では来店する高齢者に対して、積極的に声かけを行い、振り込み詐欺被害防止を図った。 また、電光掲示板による広報啓発を行い、来店者へ犯罪被害防止を呼びかけた。
40	リコージャパン株式会社高知事業部 〔社員96名〕	安全シェルターと地域見守り活動の実施	高知県内で新規購入した業務車両に「こども110番のくるま」ステッカーを追加貼付し、子どもの見守り体制を強化した。（7月～8月）
		取引先へ配布する情報紙への掲載	情報誌「かわら版」に安全安心まちづくり推進会議の活動内容を掲載し、社員の意識啓発を行った。